

仙台市議会議員（宮城野区）

## 赤間 次彦 市議会通信

平成 27 年第 1 回定例会報告

2015 年 春 号

発行/赤間次彦 〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字今市東 18-1 TEL・FAX: 022-255-0095  
http://www.sendai-akama.jp mail@sendai-akama.jp

## 平成 27 年第 1 回定例会報告

日頃よりのご支援、仙台市政へのご協力に感謝申し上げます。

今回の仙台市議会活動報告は、平成 27 年第 1 回定例会（2 月 4 日から 3 月 6 日）の報告をさせていただきます。第 1 回定例会では、総額 5 3 8 9 億 1 0 0 万円の平成 27 年度一般会計当初予算など 1 0 8 議案を審査し可決いたしました。また、国連世界防災会議の成功を目指す決議と、後期高齢者の保険料軽減特例措置の継続を求める意見書を可決しました。

また、議員報酬の減額（議長 7 万、副議長 5 万、議員 3 万）を 27 年度も継続することを決めました。

今回のレポートは私、赤間が所属する仙台市議会会派「自由民主党・仙台」の代表質疑と答弁の要点を記載させていただきました。是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 選挙管理委員会の不祥事について

**質問** 当局は十分な調査を行なわないまま、刑事告発に踏み切った。不明な部分が多くあり、市長は原因がわからないまま再発防止策をまとめることが本当にできているのか。事実に基づかない、的外れの再発防止策になる可能性があるのではないのか。

**答弁** 法令遵守に関する職員の意識、また正しいことを当然のこととして実行できなかった組織風土のありように課題があったものと認識し、これを大変重く受け止めている。改めて気持ちをしっかりと引き締め、その解決に向けて先頭に立って取り組んでいく。

**質問** 過去十年分の調査により判明した不適切な集計と選挙記録の廃棄について、これ以上の調査も処分も行なわないと発言しているが本当にそれで良いとお考えなのか。職員の非違行為についても調査も行なわないとする発言がどうして出てくるのか、不思議でならない。厳正な対処を行なうべきだ。

**答弁** 現在、宮城県警において捜査が進められている段階にあるので、事件の全容が明らかになった次点で、厳正な対処を行う。遅くとも年度内にきちんとした処分の基準をつくり、今後さまざまな事案について、オープンな形で透明性の高い処分をしっかりとやっていきたいと考えている。

**質問** 本市は今、選挙事務の見直しにとどまらず、いかにコンプライアンスを強化し、本市のガバナンスを確立していくという重大な課題に直面している。しかし残念ながら平成 27 年度の施政方針演説を一読するとそれらしき文言はたった 40 字程度の一文にすぎず、具体例もない。市長の問題意識がこの程度なのかと思うと残念でならない。具体的な取り組みについて考えがあればこの場で示していただきたい。

**答弁** 新年度から専任の職員を配置し、職員や組織に内在する課題の研究と分析を行い、法

令遵守の観点から、事務処理のチェック体制や職員の意識改革に関する対策を早期に取りまとめる。

## 震災復興について

**質問** 東日本大震災から、あと一月で 4 年が過ぎようとしている。今後、被災者の生活再建が最重要課題であることは言うまでもなく、きめ細かな支援を行なうとしているが、被災者の生活再建にかける市長の決意は。

**答弁** 新年度には、現在仮設住宅にお住まいの方お一人お一人が住まいの再建を実現し、新たな暮らしを営んでいけるよう重点的に取り組んでいく必要がある。復興計画の最終年度となる平成 27 年度は、生活再建の総仕上げとなるべき年で、早期かつ円滑に生活再建を実現していただけるよう全力を挙げて取り組んでいく。

**質問** 主な復興事業の進捗状況および今後の見通しは。また、復興計画の最終年度である平成 27 年度中に完了しない事業とその財源の確保についても、あわせて伺う。

**答弁** 被災宅地の復旧はこれまで約 5 割の地区で工事を完了しているが、一部で年度内の完了が難しい状況があり、年度末の時点で 8 割強となる見込みだ。また、復興公営住宅整備は、約 2 7 0 0 戸のうち約 7 0 0 戸について 27 年度にずれ込むことになっている。しかし、夏までには完成の見込みで、27 年度内には計画戸数 3 2 0 0 戸を予定どおり完成させたい。

完了しない事業は、かさ上げ道路等の道路整備事業や、海岸公園の再整備、蒲生北部地区の土地区画整理事業などがある。



**質問** 新年度予算を踏まえた震災復興基金の状況、今後の使い道、見通しについては如何か。

**答弁** 震災復興基金の年度末残高は、約92億円と見込んでいる。復興計画期間後も継続する東部道路整備や、蒲生北部土地区画整理、震災復興メモリアル事業への活用でおおむね全額を取り崩すものと考えている。

### 仙台市市民公益活動の促進に関する条例の一部改正について

**質問** この条例案は地方自治の原則に反する重大な問題を有しており、到底看過することはできない。第一に条例対象となる市民を異常に拡大して定義している点だ。住民と非住民とをくくりにして定義することは、自治体と住民の法的関係から見ても大きな問題があると言える。市長の考えは。

**答弁** 仙台は多様な方々が力を合わせ、未曾有の災害からも立ち上がっていくことのできる市民力が培われている。また同時に震災という非常時に発揮できた市民力を、これからの少子社会の困難な時代にあっても発揮し続けていくことが求められているということを実感した。そのため、多様な主体が持てる力を最大限に発揮し、互いに連携し、単独ではなし得なかったまちづくりに協働で取り組むことが必要で、今般の条例改正案にそうした目的や理念を盛り込み、協働の主体を幅広く捉えるものとしている。

**本条例改正案は最終日に取り下げとなりました。**

### 保健所の一元化について

**質問** 緊急、広域的な健康危機事案に対し、迅速かつ的確に全市的な対応を図るため、各区の5保健所を一元化し、現行の保健所は支所にしようとしている。そこで、一元化後の保健所の所長について、どのような資質が求められるのか。重層的な組織になり、統率力が問われることはもちろんだが、市長の考えは。

**答弁** 法令遵守や服務規律に関する高い規範意識が求められる事はもとより、健康危機発生時に医学的知識に基づき迅速かつ的確に対処できる危機管理能力、一元化後の保健所全体を統括指導するリーダーシップ、地域の医療機関などとの円滑な連携を構築することのできる資質などが必要と考えている。

### 教育委員会制度改革について

**質問** 新しい制度では、大綱の策定は首長の権限であることが明記されている。新年度大綱を策定するにあたり、現在、本市教育行政の課題をどのように認識されているのか。

**答弁** 人口減少社会の到来や少子高齢化の一層の進展などにより、社会の仕組みも変革を迫られる。震災復興という状況も踏まえ、社会状況の変化に対応し、たくましく生きていく力を育むことが必要との認識を基礎としている。具体的には、主体的に社会に参加するうえで求められる力を明確にし、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成や学びの機会と活動を広げるための生涯学習の充実などがまとめられており、新年度に開催する総合教育会議においてこの点を踏まえながら協議していく。

### 仙台市立病院について

**質問** 昨年11月に新市立病院が移転オープンした。しかしながら、精神科医師の不足のため精神科病棟は閉鎖され、遊休施設となっている。この間、体制の整備が図られ全力で取り組むと答弁されているが、取り組みの成果と精神科病棟再開の見通しは、如何か。

**答弁** 大学や地域の精神科医療の関係者と協議を重ね取り組んできたところで、本年4月に常勤医師4名が赴任する見通しとなった。しかし、医療保護入院を行う際に必要な精神保険指定医の資格を持つ医師は1名のみで、指定医の資格を持った医師の応援体制が必要なため調整を進めている。来年度できるだけ早い時期に精神科病棟での受け入れができるよう、引き続き全力で取り組んでいく。



### 平成27年度一般会計補正予算について

**質問** 平成27年度に策定しようとしている政策重点化ポリシーとは、一体どのようなものか。どのような手法で策定しようとしているのか。

**答弁** 平成27年度を持って震災復興計画期間が終了することを踏まえ、基本計画を上位計画としつつ、震災復興計画に掲げたまちづくりの方向性を継承しながら、平成32年度までの5カ年において重点的に取り組む政策テーマの実施方針をまとめるものだ。委員会における合議形式にかえ、議論の深掘りを図っていくことを狙い、有識者へのヒアリングとディスカッションを予定している。第3回定例会を目途にポリシー、戦略、ともに中間案を示すよう作業を進めていく。

### 生活困窮者自立支援について

**質問** 本年4月から施行される生活困窮者自立支援法は、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るためのもので、自立相談事業の実施、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業など、生活困窮者の自立支援促進に関するさまざまな措置を講じることが求められているが、どのような体制で臨もうとしているのか。

**答弁** 今年度設置した自立支援相談センターにおいて、青葉区の相談者を対象に支援プランを作成し、困窮状態に応じた就労支援や住居確保の支援、多重債務等の解決に向けた支援を実施している。新年度は、全市を対象に相談を行うため、相談員や支援員を20名に倍増するなど体制の充実を図り、生活困窮者の自立を促していきたい。

### 子供の貧困対策について

**質問** 生活困窮者の子供は、経済面をはじめさまざまな苦境に立たされるが、子供の貧困は将来の貴重な労働力の損失や、社会活力の低下、少子化の進展など、社会全体に与える影響が大きい。今後子供の貧困対策に関してどのような施策を実施していくのか。

**答弁** 新年度では現在策定中のひとり親家庭等安

心生活プランに基づき、就労支援や父子、母子福祉資金の貸付などを実施していくほか、低所得世帯の子供の居場所づくりを含めた学習サポート事業も全区に拡大して実施する。今後も国の取り組みと連携してさまざまな施策に継続的に取り組んでいきたい。

### 子ども・子育て支援新制度と待機児童の解消について

**質問** 新制度では全ての市町村が、子ども・子育て支援事業計画を策定し、その量の見込みや確保方針を定めることが義務づけられている。本市では平成29年度当初までに保育総量約21600人を確保し待機児童の解消を目指すとしているが、これは平成26年度当初に対して約4400人を新たに確保しなければ実現しない数値だ。一方で、本市独自のせんだい保育室の制度を廃止しようとしている。このような中であって、どのようにして平成29年度当初に待機児童の解消を図るのか。

**答弁** 認可保育所や認定こども園、小規模保育、事業所内保育などさまざまな保育基盤を整備することにより、本年度は1300人分の保育総量を確保できる見込みで、平成27年度、28年度についても、合計3100人分の保育総量確保を図る予定で、待機児童解消に向けた取り組みを着実に推進していく。

**質問** 計画では、59カ所程度の認定子ども園の設置を目指すとしているが、現状を見る限り高いハードルではないか、取り組みの状況および見通しは、如何か。

**答弁** 幼稚園や保育所に最新情報を示しつつ複数回実施した調査結果を踏まえ、平成31年度までに移行が見込まれる園を積み上げて59園としている。今後も、施設整備費や職員に必要な資格の取得経費の補助を実施するとともに、認定こども園に移行する際の独自の運営補助なども通じ、目標の実現に向けた支援を行っていく。

### 仙台経済成長デザインについて

**質問** 本市は昨年2月、仙台経済の新たな成長戦略、仙台経済成長デザインを策定した。この戦略では平成29年度を目標年次とする4つの数値目標を掲げ、9つのプロジェクトに取り組んでいるが、この4つの数値目標について、現状認識と今後の見通しは。

**答弁** 各種統計資料をもとに、復興後を見据えながら達成すべき戦略的な目標として設定した。新規開業率日本一や新規学卒者の就職内定率や企業誘致に伴う雇用創出などは順調に進んでいる。一方、観光客入り込み数は震災前と比べて十分な回復には至っていないが、今後、国際センター展示棟や水族館のオープン、東西線の開業などを追い風にしながら誘客やコンベンション誘致に積極的に取り組んでいく。

### 地下鉄東西線の開業とまちづくりについて

**質問** いよいよ本年12月6日に本市最大級のプロジェクトである地下鉄東西線の開業を迎える。開業までのカウントダウンは既に始まっており、残りの時間、全市を挙げて開業機運の盛り上げを図る必要があると考えるが、今後の取り組みは如何か。

**答弁** 先般、東西線フル活用2.0プランをまとめた。沿線にお住まいや、通勤、通学されている方々だけではなく、沿線以外の会社や商店街、事業者等の皆様の開業への期待感や機運を高めていくこととしている。

**質問** 実際により多くの皆様に利用していただくためには、地下鉄の持つ利便性や魅力を実感していただくことが重要だ。開業に向け、これまで以上に東西線の利用を促す営業活動を幅広く行うことが必要であると考えますが、如何か。

**答弁** 沿線のにぎわいや開業時イベントに学生などの若い感性も生かしながら多くの市民の方々にかかわっていただき、東西線デビューを全市一体となって盛り上げるよう取り組んでいく。

また、運賃面でも仙台駅を中心とした200円均一エリアの新設やイクスカでのポイントサービスの導入、地下鉄学生フリーパスの導入について運賃条例の改正をお諮りしている。12月の開業に向け、沿線の学校や企業を直接訪問するなど、増客につなげる個別の営業活動も積極的に行っていく。

**質問** 地下鉄が移動するだけの交通手段としてだけでなく、魅力ある都市軸として発展するためには、沿線への開発誘導も重要な取り組みだが、いまだ大きな動きがないように感じる。沿線には、一定の開発需要があるはずであり、機を逃さず潜在している開発需要を掘り起こし、民間投資を東西線沿線に呼び込む取り組みが必要であると考えますが、如何か。

**答弁** 沿線には一定の開発需要があるものの、建設コストの高騰の影響により、なかなか具体化まで至っていない状況だ。開業という機を逃す事なく、引き続き事業者への働きかけを行うとともに、提案制度の積極的活用や既存制度の拡充、緩和などの取り組みを進めながら、開発の促進を図っていく。

### 国連防災世界会議について

**質問** 会議のメイン会場となる国際センター展示棟も完成し、開催準備も最終段階を迎えている。準備に当たってこられた関係者には、敬意を表するとともに、最後の詰めをしっかりと行い、無事に開催されることを祈念してやまない。東日本大震災の被災地である開催都市仙台として、市長は国内外の会議参加者、そして市民の皆様にとどのようなメッセージを発信しようとしているのか。

**答弁** 震災から学んだ経験と教訓を広く会議参加者にお伝えし、世界の防災文化の発展に貢献していきたいと考えている。そのため、市民力を生かした地域レベルでの防災、減災の取り組みや、女性の視点を取り入れた防災への取り組みを発展途上国を含め、あらゆる皆様に参考としていただけるよう世界に向けて発信していく。

**質問** 市民の皆様も参加できるパブリックフォーラムについて、最終的にはどの程度の開催となるのか。

**答弁** 今回の会議では、シンポジウム、セミナーが406件開催される見込みで、展示事業は377団体、ポスター展示は119団体が出展する予定で、前回の兵庫会議を大きく上回るものとなっている。

# 赤間次彦 行き

# FAX 022-255-0095

このページを右点線で切り取り、ご意見等をご記入の上 FAX 送信お願いいたします。  
FAX がない場合はお電話いただくか、直接事務所までお持ちいただいても結構です。

## あなたの声を仙台市政へ！

皆さんの普段思っていることをお気軽にお寄せください。

● 現在お困り事がありましたら具体的にお書きください。

-----  
-----  
-----  
-----

● 仙台市の復興についてお考えなどがありましたらお書きください。

-----  
-----  
-----  
-----

● 仙台市議会に関するアンケートにご協力お願いいたします。

- |                                 |     |    |                       |     |    |
|---------------------------------|-----|----|-----------------------|-----|----|
| 1、仙台市議会に関心がある                   | YES | NO | 10、仙台市議会に市民の声が反映されている | YES | NO |
| 2、仙台市議会だよりを読んでいる                | YES | NO | 11、議員に要望や意見を伝えたことがある  | YES | NO |
| 3、仙台市議会ホームページを見たことがある           | YES | NO | 12、仙台市議会議員を身近に感じている   | YES | NO |
| 4、仙台市議会を傍聴したことがある               | YES | NO | 13、地域ごとの議会報告会があれば参加する | YES | NO |
| 5、仙台市議会議員選挙はかかさず投票している          | YES | NO | 14、仙台市議会の改革は必要だ       | YES | NO |
| 6、仙台市議会議員選挙は投票しない               | YES | NO | 15、仙台市議会に求めるものは何ですか   |     |    |
| 7、仙台市議会議員定数 55 人(宮城野区 10 人)は妥当だ | YES | NO | ご自由にお書きください (         |     | )  |
| 8、仙台市議会議員の活動内容を知っている            | YES | NO | (                     |     | )  |
| 9、仙台市議会議員の活動に満足している             | YES | NO | (                     |     | )  |

● 仙台市に求めることは何でしょうか (あてはまることに○印を、複数回答可)

- A、経済対策 B、農業振興 C、健康医療対策 D、子育て教育対策 E、年金福祉対策、F、観光振興 G、企業誘致・雇用対策

ありがとうございました。

ご要望に対してご回答申し上げますので、ご記入お願いいたします。

お名前 \_\_\_\_\_ TEL・FAX \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

仙台市議会議員 (宮城野区)

## 赤間次彦 自宅事務所

〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字今市東 18-1  
 TEL・FAX : 022-255-0095  
<http://www.sendai-akama.jp>  
[mail@sendai-akama.jp](mailto:mail@sendai-akama.jp)

赤間次彦 自宅事務所

